

オカモノアラガイ

奇妙なカタツムリに出会いました。澄川森林での昼休みに駐車場広場の植樹たちを観察していました。ホオノキの稚樹に立てた支柱に2匹が寄り添ってくっついていました。幾度か見かけた記憶はあるのですが、カタツムリに対する興味があまりなかったので、調べたことはありませんが、先般ヤマナメクジを調べたときにカタツムリとナメクジは近縁であることを理解したので、このカタツムリは何者であるか調べることにしました。撮影日時は2015年7月19日12時18分でした。

帰宅してネットでいろいろ調べた結果、オカモノアラガイと判定いたします。モノアラガイ



は淡水に棲む巻貝で田んぼやその水路に生息しているとのこと。近縁のサカマキガイという背負ってる貝の巻きが逆巻きすなわち時計まわりがモノアラで反時計まわりがサカマキだとのこと。



オカモノアラガイ

似たもの同士ですが、別種とのこと。これらの両貝ともにヘイケボタルの餌になるので澄川の沢にも棲んでいるかもしれません。一方のオカモノアラガイは森に棲むホタル科の昆虫たちの餌で森林生態系に寄与しています。オカモノアラガイは貝の形はモノアラガイにそっくりなのですが、分類的には全くの別種でカタツムリと同じ柄眼目とのこと。モノアラガイは基眼目で目の段階で別れています。分布はほぼ佐渡を含む日本全土のようです。

駐車場台地の樹木たちは自然発生のドロノキとハルニレは樹木らしい姿に成長しました。植栽したミズナラ、イタヤカエデやヤチダモは虫害やネズミに齧られるやらで伸びなやんでいます。今少しの辛抱で根がしっかりしてきますと、みるみる伸び始めると信じましょう。

この日の作業はホームページの呼びかけに応じでの参加者2名を加えて、特別区画の毎木調査、東屋工事、炭焼き準備、それに薪作り等を分担しました。

